



報道関係者 各位

平成22年11月18日
厚生労働省健康局結核感染症課
(照会先)
感染症情報管理室長 中嶋 健介
課長補佐 林 修一郎
(電話) 03 5253 1111
(内線 2389、2373)
(直通 03 3595 2257)

「我が国における新たな多剤耐性菌の実態調査」における KPC 型カルバペネマーゼ産生肺炎桿菌の検出について

「我が国における新たな多剤耐性菌の実態調査」において、KPC 型カルバペネマーゼ産生肺炎桿菌が検出されましたので、ご報告いたします。

同調査における KPC 型カルバペネマーゼ産生菌の報告は、これが第 1 例であり、国内での報告例としては第 2 例^(※)です。

(※) 国内での第 1 例は、平成 20 年の患者について、平成 22 年に学会で報告があった事例です。

(検査結果)

- ・菌種:肺炎桿菌 (*Klebsiella pneumoniae*)
- ・国立感染症研究所における PCR 検査結果: KPC-2 型

(背景)

- ・松下記念病院(大阪府)に、外傷の治療のため入院中の 40 代男性患者の、11 月上旬に採取した腹部と尿の検体(合計 2 検体)から検出されました。
- ・肺炎桿菌による感染症の症状はなく、菌を保菌している状態と考えられます。
- ・患者は、海外での入院・手術後、帰国して治療を継続しており、現在も入院中です。
- ・現在、入院中の他の患者から、多剤耐性肺炎桿菌は検出されておられません。

(裏面に参考資料あり)

(参考)「我が国における新たな多剤耐性菌の実態調査」のこれまでの結果
(平成 22 年 11 月 18 日現在)

● 受け入れ菌株数

受付月	菌株受入数
9 月	11
10 月	45
11 月	26
合計	82

● 解析結果

耐性遺伝子	菌株数
IMP-1	43
KPC	2
NDM-1	1
すべて陰性	36
合計	82

● 菌種別耐性遺伝子解析結果 (菌株数)

菌名	遺伝子の種類				合計
	IMP-1	KPC	NDM-1	すべて陰性	
<i>Klebsiella pneumoniae</i> (肺炎桿菌)	14	2	1	9	26
<i>Escherichia coli</i> (大腸菌)	7			18	25
<i>Enterobacter cloacae</i> (エンテロバクター・クロアカ)	18			3	21
<i>Providencia spp.</i> (プロビデンシア属)	2			1	3
<i>Citrobacter freundii</i> (シトロバクター・フロインデイ)	1			1	2
<i>Serratia marcescens</i> (セラチア・マルセセンス)	1			1	2
<i>Klebsiella oxytoca</i> (クレブシエラ・オキシトカ)				1	1
<i>Morganella morganii</i> (モルガネラ・モルガニイ)				1	1
<i>Proteus mirabilis</i> (プロテウス・ミラビリス)				1	1
合計	43	2	1	36	82